

6. ネパールに女性の職業訓練所を開設した米山学友アルチャナ・シュレスタさん

～現地 RC とのツインクラブ締結を機に、世話クラブを含めた5クラブが支援を決定

【第2630地区(岐阜県・三重県)】～

ネパール出身の米山学友、アルチャナ・シュレスタさん【2001-02 / 鈴鹿国際大学 / 鈴鹿西 RC】は、大学卒業後に帰国し、女性の地位向上のための職業訓練所を開設しました。「ルーザー(日の出)・トレーニングセンター」と名づけたこの訓練所では、手に職をつけて自立を目指す多くの女性が、ミシンの縫製や刺繍、美容・理容技術を習得しています。

今なお社会に厳然とカースト制度の残るネパールでは、最も自立を必要とするカースト下層の女性は、貧しさ故に授業料が払えず、入所の希望が叶いません。そのためアルチャナさんは、パタン市のラリトプール・ロータリークラブを通じて、運営費や無償で学べる女性たちのための支援を、彼女の学んだ地である鈴鹿に求めました。

この要請に応じて、第2630地区(岐阜県・三重県)の鈴鹿・鈴鹿西・鈴鹿ベイ・鈴鹿シテイ・亀山の5ロータリークラブは各々が、土井賢一ガバナー補佐の提唱で、ロータリー100年記念ツインクラブの締結を期し、「ルーザー職業訓練所の支援事業」を計画しました。3月27日、ラリトプール・ロータリークラブのB.Kシュレスタ会長も来日してツインクラブ締結調印式が行なわれ、日本側から向こう3年間継続し、合計140万円の支援が約束されました。



ルーザー・トレーニングセンターでの縫製訓練の様子

アルチャナ・シュレスタさんの談話:

「ネパールの女性の地位向上のために役立ちたい、これは私が日本留学を通じて得た夢です。留学中お世話になったいろいろな方に、『帰国したら人のために役立つことをするんだよ』と励まされ、いつかそれが私自身の夢になりました。帰国後のニーズ調査で、ミシンによる縫製を仕事にしたいという希望が最も多いことが分かりました。また、少ない資本で開業でき、収入もよい美容師・理容師もそれに次ぐ人気でした。そこで、自立を目指す女性にこれらの技術を習得させる職業訓練所を開設したのです。日本語の通訳・翻訳業、そして日本語教師としての収入のほぼすべてをつぎ込んで、ルーザー・トレーニングセンターを開所することに親兄弟さえも反対しましたが、私は迷いませんでした。いろいろな困難を乗り越えてここまでやってきましたが、今回、世話クラブの鈴鹿西 RCをはじめ、鈴鹿・亀山の5ロータリークラブからの温かいご支援をいただけることになり、本当に感謝しています。これから、いろいろなトレーニングを行って、女性の活動の場を広げていきたいと考えています。」



笑顔で抱負を語るアルチャナ・シュレスタさん

世話クラブ:鈴鹿西RCの松本裕夫氏の談話:

「アルチャナさんは、米山奨学生当時から日本のコミュニティーに溶け込み、その人柄で周囲の人から非常に愛されていました。私たちも、当時から彼女の夢を聞いていましたので、クラブとしても彼女を応援したいという機運が自然に高まったのだと思います。ロータリー100周年、そして当クラブの創立20周年にあたる今年、ラリトプール RC とのツインクラブ締結調印が整いましたので、同クラブと協力し、第2630地区世界社会奉仕資金の協力も頂き、5RCとして彼女の素晴らしい活動をサポートできることを嬉しく思います。」

(財)ロータリー米山記念奨学会 編集担当: ^{みね} 峯・^{のう} 野津・^{おおは} 大庭
〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-3 abc 会館ビル 8階
Tel: 03-3434-8681 Fax: 03-3578-8281
E-mail: highlight@rotary-yoneyama.or.jp
URL: http://www.rotary-yoneyama.or.jp/